

一斉学習 児童生徒発表型

実践タイトル 影クイズ大会をしよう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・児童が自分で作成したクイズの問題を、出題したり、ヒントを見せたりしながら解答者とコミュニケーションを促すためのツールとして利用する。

静止画（ホワイトボードに映した影を撮影したもの）

・クイズの問題の作成や、解答者のヒントとするため。

参考にしてほしいポイント

- ・光源との位置関係で、影がいろいろな形に変化することに気付かせたり、楽しんだりすることができる。
- ・プレゼンテーションソフトウェアを利用してクイズ発表したり、答えたりすることで児童同士のコミュニケーションを深めていくことができる。

本時の展開（主な学習活動）


学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 3	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習活動がクイズ大会であることを確認する。 ・注意事項を確認する。 ・発表の順番を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・プレゼンテーションソフトウェアのスライド（写真1）
展開 3 32	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつ順番に問題を出し合い、クイズ大会を行う。 <p>【問題例】1つの問題に3枚の写真を利用する。</p>  <p>1枚目 2枚目 3枚目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・プレゼンテーションソフトウェアのスライド（写真2・3）
まとめ 32 42	<ul style="list-style-type: none"> ・感想を発表する。 ・次の発表者を確認する。 	



写真1：クイズの発表の仕方やヒントの出し方、答え方の練習



写真2：自信を持って自分の作ったクイズを発表



写真3：クイズやヒントを出し合うことで楽しい雰囲気につつまれた

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・プレゼンテーションソフトウェアを利用してクイズを出し合った。どの児童も自信を持って、自分の作った問題を発表することができた。
- ・出題する・解答する・ヒントを出し合うなどの活動を通して、児童同士の交流を図ることができた。

活用効果

評価の観点	・活動や体験についての思考・表現	具体的変容	・声の大きさを意識するなど、みんなの前で発表の仕方を考えている姿が見られるようになった。
-------	------------------	-------	--

実践の手応え

- ・問題作成から、クイズ大会まで全員が意欲的に活動に取り組むことができた。